



## だいがく だいがく 「大学イモ」の大学って、なぜいうの

### さいこう てま 最高の手間をかけるということから

ほっかほかの「大学イモ」って、おいしいですね。「大学イモ」は、サツマイモを油であげ、それに「みつ」をかけたものです。ふつう、サツマイモは、石やきイモのようにやいて食べるか、ふかして食べるのがふつうですが、「大学イモ」は油であげたり、みつをかけ、ゴマをふりかけたりするなど、かなりの手間がかかっています。

そこで、こんなにも最高の手間をかけるということから、最高の学校、大学と結びつけられて名づけられたといわれます。

### とうきょうだいがく まえ う 東京大学の前で売りはじめたから

たいしょうじだい はじ や みかわや とうきょうだいがく まえ みせ だ  
大正時代の初め、ふかしいも屋さんの三河屋が、東京大学の前で、お店を出してました。あるとき、サツマイモを油であげ、それにみつをかけて売り出したところ、東大生の間でもこれはおいしいと大ひょうばんになり、いつの間にか「大学イモ」とよばれるようになりました。

これを聞きつけた他の東京のいも屋さんも、まねをして作るようになり、たちまち広まっていったといわれます。

いま みかわや ばなし だいがく  
今のところ、この三河屋さんの話が「大学イモ」のはじまりではないかといわれています。（監修・保岡 孝之）

